

令和6年度 高志中学校 第1学年外部講師特別講座

- 1 期 日 令和6年7月23日(火)
- 2 場 所 福井県立高志中学校 学習室AB、13講義室A
- 3 講 師 滝口 隆幸 先生 (東京都立小石川中等教育学校 数学)
石川 勝也 先生 (開成中学校・高等学校 理科)
- 4 参加者 86名

5 報 告

[滝口隆幸先生による講座]

◇講座名：「パスカルの三角形で数楽しよう」

◇内 容

滝口先生の授業のテーマは「パスカルの三角形で数楽しよう」で、パスカルの三角形を題材にして、規則性を発見したり、数学の記号や言葉で表現することをしたりしていました。高校2年生以上で学ぶ内容の入門編ということで、ハイレベルな数学でしたが、グループで協議して発見した規則性を全体で共有するなど、数学の面白さを学んでいました。

◇生徒感想

私はこの授業を受けて数学の楽しさを知ることができました。難しいと思うほどその解き方を見つけたときの達成感を得ることができるとことを知りました。私は数学に苦手意識がありましたが、奇数と偶数で色を塗り分けてきれいな模様ができるときは驚きました。グループで話し合っって考えることで、考えが深まっていくことが楽しかったです。



[石川勝也先生による講座]

◇講座名：「流星から銀河へ」

◇内 容

石川先生の授業のテーマは「流星から銀河へ」で、石川先生から「約2400年前の時代にも望遠鏡もない時代にアリストテレスがどのようにして地球が丸いことを証明したのか」「ガリレオはどのようにしてコペルニクスの地動説を証明したのか」などの問いが出され、「場所によって見える星、見えない星がある?」「月食のときに同じように丸いものが重なったら、地球が丸いと言える?」などの自分の考えを出しながら、観測やデータをとることを通じて科学的に証明することの面白さを実感していました。また、3D眼鏡をかけて国立天文台のMitakaを見て惑星や銀河系の様子を観測して、その広さや神秘さを体感していました。

◇生徒感想

私は先生の「間違っている学説は嘘ではなく、当時の真実」という言葉がとても印象に残りました。天体観測によって星の密度から宇宙の広がりを見つけたハーシェルのように「そうかもしれない」と思い立ったら、行動に移すことが大切だと思いました。

